

施設関係者評価実施報告書

平成30年3月7日

報告者氏名

栴沢 香澄

評価者氏名

長谷川 幸恵

①全体評価

3年目となり保護者会や地域との連携・協力もスムーズになり行事等についても改善されていた。日常の教育・保育においては職員の研修や保護者への発信、安全管理体制の強化など質の向上が意識されていた。来年度は4年目となるが、こども園こどもりとしての特色や独自性を日常の教育・保育の中でも期待する。

②学校評価の個別評価

法人の教育・保育理念に基づいた指導

全体的な計画の基各種指導計画が作成されており、各学年の発達に即した教育・保育がなされている

保健管理

定期的な感染症等の情報提供や診療所、薬剤師、保健師との連携等が適切に行われている

安全管理・災害への対応

毎月の避難訓練・安全教室による園児への指導の他、職員による施設点検が定期的になされている

小学校との連携

定期的に交流を図り、双方の情報提供や小学校入学に向けた取り組みがなされている

職員会議・ケース会議等

月一回の職員会議、給食会議の他、行事に向けた会議、特別な支援を必要とする園児の対応に関する会議が行われていた

研修(資質向上の取組)

園内研修、法人研修、外部研修に定期的に参加しており、一人一人の職員に応じた研修がなされている

自己評価

チェックリストによる総合的な自己評価と週、月、学期毎の教育・保育の評価がきちんとなされている

情報提供

ブログの掲載、園だよりや保健だより等の配布、毎日の保育日誌の掲示により必要な情報や教育・保育の様子が提供されている

保護者・地域住民との連携

5歳児の保護者会役員を中心としながら行事等の詳細を検討された。今後、地域との連携のさらなる強化に期待する。

子育ての支援

主幹保育教諭を中心として、定期的な保育の情報提供、子育てに対する相談を受ける等の対応が出来ていた

延長保育

短時間認定の利用者が朝早い時間や夕方に利用している

教育環境整備

園児の作品や月のテーマに合った掲示や装飾がなされ、園児が様々なことに興味関心を持てるような工夫がなされていた

③その他必要な評価

子育て支援センター

外部から講師を招いたり、日常的な遊びを提供したりして利用者が楽しめる内容となっていた

食育と食事の提供

保育教諭等による菜園づくりやクッキング実施の他、行事食の改善や郷土料理の取入れがされていた

地域の行事への参加

福祉大会や活ハマ祭りなどに積極的に参加し、地域の皆さんに園児の姿を披露することが出来ていた

④課題と検討

3年間にわたってこども園こどもりの教育・保育の基礎を作ってきたが、4年目はさらに発展させて落ち着いた環境の日常と意欲を持って取り組む行事とのメリハリをつけられるようにしていく。地域社会との連携では小泊地域に在ることの意義を再度見つめなおしていく。

評価委員： 田中 恵、山田 瑞穂、長谷川 幸恵、小松 清春、葛西 紀子